

平成30年度

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

事業報告書

大阪府中央区上町A番7号

公益財団法人大槻能楽堂

平成30年度事業報告

I 事業の状況

当能楽堂は、世界無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行いました。

本年度の自主公演では2020年の東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博を意識した、多言語対応（日・英イヤホンガイド）の公演の実施や、夏休みおやこ教室では新作能「光」にて、群れイルカ役（子方）をオーディション形式で募集するなど、能楽普及に一層力をいれ実施致しました。

また2019年に予定している改修工事に向けた寄附金募集も大々的に開始致しました。

本年度実施した事業内容は以下のとおりです。

1. 伝統芸能「能楽」の振興と普及のため、自主公演等上演し、広く国民一般への理解に資する事業

(1) 自主公演能事業

・能の魅力を探るシリーズ（年12公演）は一年間で日本全国の能をテーマに、洛陽の春・東国行脚、西国旅情、四国巡礼と大きく四つに分け、その地方にならでの故事・史跡が能・狂言にどのような彩を与えているのかを探りました。また著名な文化人・歌人・研究者を講師に招聘して、演目の解説のみならず、その曲の背景・時代・土地・本説の物語について等のお話も行いました。独立行政法人日本芸術文化振興会より8,001,000円の助成金をいただきました。

開催日	演目	小書	シテ	講師
平成30年4月28日	西行桜	素囃子	梅若実	中西進
5月19日	花折		善竹隆司	梅内美華子
	百萬	法楽之舞	浅井文義	
6月16日	大原御幸		梅若万三郎	馬場あき子
7月28日	入間川		野村萬	村瀬和子
	杜 若	恋之舞	上田拓司	
8月18日	盛 久	恐之舞	野村四郎	山折哲雄
9月22日	善知鳥		齊藤信隆	天野文雄
10月27日	俊 寛		浦田保親	大森亮尚
11月24日	砧	梓之出	浅見真州	金子直樹
12月22日	福の神		善竹忠重	村上湛
	藤 戸		友枝昭世	

平成 31 年 1 月 26 日	維盛		茂山あきら	井沢元彦
	海士	懐中之舞	赤松禎友	
2 月 23 日	屋島	大事・ 那須之語	観世清和	内田樹
3 月 23 日	通盛		武富康之	村井康彦

・ナイトシアター（全 3 公演）

特別公演

平成 30 年度は大槻能楽堂が昭和 58 年に大改修をいたしましてから 35 年を迎えます。これを記念して特別公演を企画開催いたしました。

春、秋 2 公演両日のシテは人間国宝の大槻文藏。また春には亀井忠雄、秋には野村万作・大倉源次郎を配し、演目も能はポピュラーな人気演目「隅田川」「恋重荷」、狂言は春には若手ホープ茂山逸平による大曲「釣狐」、秋には野村三代による「二人袴」と記念公演に相応しい充実した内容にてお送り致しました。

また 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた第一弾として、2ヶ国語（日本語・英語）によるイヤホンガイドも導入。

独立行政法人日本芸術文化振興会より 1,667,000 円の助成金をいただきました。

開催日	演目	シテ
5 月 11 日	釣狐	茂山逸平
	隅田川	大槻文藏
11 月 1 日	二人袴	野村万作
	恋重荷	大槻文藏

ろうそく能

ろうそくの中で能を鑑賞いただくろうそく能、今回は能だけではなく多くの芸能に取り入れられている「山姥」にスポットをあて開催いたしました。

本年は山村流上方舞の地唄舞「山姥」の上演後、ろうそくが照らす妖しい雰囲気の中、能「山姥」をお楽しみいただきました。

日本に古くから伝わる山姥を、能・地唄舞と異なる視点でご覧いただき、双方の魅力を発信するとともに、主に歌舞伎を専門にされているが、芸能全般に詳しい古井戸秀夫氏を講師に招き、芸能が魅せる山姥のルーツなどを話して頂きました。独立行政法人日本芸術文化振興会より 727,000 円の助成金をいただきました。

開催日	演目	小書	シテ	講師
7 月 13 日	山姥	地唄舞	山村友五郎	古井戸秀夫
	山姥	白頭	上野雄三	

・夏休み親子教室（8月3日公演）

次世代を担う子供たちに、伝統芸能に触れ、舞台芸術のもつ楽しさを発信する毎年恒例の公演。

例年同様、案内役に落語家の桂吉坊氏を迎え、本年は新しい要素として、能鑑賞については古典と新作、双方の面白さを観て貰うべく、最初に半能「舍利」を上演。その後、能の紹介、ワークショップ（謡、能面体験、狂言、小鼓・大鼓・太鼓の囃子体験）を行い、昼食後に新作能「光」を上演いたしました。

また新作能「光」では群れイルカ役（子方）をオーディション形式で一般募集し、事前に稽古を重ね、能楽師と共演していただくという新しい要素も加わりました。

次世代を担う子供たちに伝統芸能、舞台芸術を伝える新しい形を生む公演として開催いたしました。独立行政法人日本芸術文化振興会より 797,000 円、大阪府より 1,000,000 円の助成金をいただきました。

開催日	演目	シテ	ナビゲータ
8月3日	半能 舍利	大槻裕一	桂吉坊
	ワークショップ		
	光	大槻文藏	

・新春公演

吉例の二日間連続公演で、恒例の〈翁〉と人気曲の能・狂言はもちろんのこと、能楽師による鏡割りや、振る舞い酒もご用意して新春を寿ぎました。

独立行政法人日本芸術文化振興会より 2,998,000 円、大阪市より 100,000 円の助成金をいただきました。

開催日	演目	小書	シテ
平成 31 年 1 月 3 日	翁		片山九郎右衛門 茂山千三郎
	高 砂	八段之舞	観世喜正
	靱猿		茂山千五郎 茂山千作
1 月 4 日	翁		大槻文藏 野村裕基
	隠狸		野村万作 野村萬斎
	国栖	天地之声	観世鍔之丞

(2) 学生鑑賞能事業

小・中・高校生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップ・体験教室などを併せ、本年度は4公演行いました。

(3) 委託公演能事業

1、有馬能楽堂 能狂言公演

有馬能楽堂で催す恒例の公演を下記の通り計5公演を請負開催しました。

公演日	演目
5月4日	舞囃子「松風」
7月27日	狂言「梟山伏」「清水」
8月26日	狂言「萩大名」「惣八」
10月14日	能「井筒」
10月21日	能「葵上」

2、篠山春日能

自治体等が開催している国指定重要文化財である春日神社能舞台で催す恒例の篠山春日能（4月14日 能「半蔀」梅若万三郎、能「鉄輪」大槻文藏 狂言「寝音曲」）公演を請負、より多くの方に伝統芸術に触れる機会を提供致しました。

3、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」

子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業に本年度も採択いただき、事前にワークショップを行った上、合計16校の公演を実施いたしました。

本年より広報活動含めた複数度採択としてCブロック（茨城県 千葉県 東京都 山梨県）にて「舍利」を上演いたしました。

4、その他、下記公演等の委託を請負開催しました。

- ・大阪・奈良税理士協同組合創立四十周年記念祝賀パーティー（7月6日 能「羽衣」）
- ・関西領事団150周年記念ガラディナー（2月1日半能「石橋」）
- ・明日香村文化協会四十周年記念 新春互礼会（1月27日 狂言「柿山伏」）
- ・狂言風オペラ「フィガロの結婚」全6公演

オペラと狂言というヨーロッパと日本の伝統的な芸能を結びつけ、高い芸術性と無類の面白さで好評を博している狂言風オペラシリーズ。昨年度同様、能と文楽が加わり、日本の伝統文化が総集結した公演の再演。

上記のように今年度も多くの伝統芸能の振興、文化・芸術の普及の為、公演を請負、より多くの方々に伝統芸能に触れる機会を提供致しました。

(4) 謡曲・仕舞教室事業

観能するだけでなく、自らが謡に触れることで、芸能文化活動を主体的に楽しめる謡曲教室全3回（1コース全13回）を開催いたしました。

（本年度仕舞教室の開催はなし。）

開講時期		昼コース1	昼コース2	夜コース1	夜コース2
7月～10月	初心者コース	杜若	善知鳥	初心者コース	杜若
12月～2月		屋島	通盛	土蜘蛛	屋島
3月～		藤	野宮	羽衣	野宮

及び大阪府教職員互助組合の退職会員を対象に年4回（3ヵ月毎10回）、実施いたしました。

2. 伝統芸能の振興及び普及を目的とする団体などに施設及び装束等を提供する事業

(1) 能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人（この目的に賛同するものを含む。）に対して当能楽堂が所有する能楽堂を貸与致しました。

能楽の公演会場として年間76件、稽古場として年間319回、その他会議室等として14回貸与いたしました。

また、能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動（九團次の会、山村友五郎先生の会、藤間勘十郎素踊の会）に対しても貸与致しました。

(2) 能面・能装束及び作り物の貸与

当能楽堂の財団である能面・能装束及び作り物を、能楽を上演する主催者に貸与しました。

(3) ビデオ事業

能楽堂施設の貸与の一環として、能楽師や一般の人が、自分の体験した能楽の貴重な記録を保存し、能楽研究などに役立たせるためにビデオ録画を行いました。

II 理事会・評議員会等

平成30年6月5日 午前10時30分～

・平成30年度第1回理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 平成29年度事業報告・計算書類等及び
財産目録の承認について

第2号議案 第8回定時評議委員会の招集にについて

報告事項 1、改修工事について報告

2、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名 欠席1名 監事出席2名
オブザーバー出席 改修工事实行委員会出席 1名
顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

平成30年6月28日 午前10時30分～

・平成30年度 定時評議員会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 平成29年度の計算書類等及び財産目録の承認の件

出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席8名 欠席2名 監事出席2名
オブザーバー出席 理事出席2名 改修工事实行委員会出席 1名
事務局出席1名

平成30年9月7日 午前10時30分～

・平成30年度第2回理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 平成29年度計算書類等の修正に関する承認について

第2号議案 臨時評議員会招集について

第3号議案 平成31年度自主公演能について

第4号議案 大槻能楽堂改修工事について

報告事項 1、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席10名 欠席0名 監事出席2名
オブザーバー出席 改修工事实行委員会出席 1名
顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

平成30年9月27日

・平成30年度評議員会（決議省略によるみなし開催）

決議事項 第1号議案 平成29年度計算書類等の修正(案)を承認の件
出席等 決議に必要な出席理事総数10名、全員より同意書。

平成30年12月10日 午前10時00分～

・平成30年度第3回理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 平成30年度中間決算について
第2号議案 平成31年度自主公演能について
第3号議案 会員システムについて
第4号議案 リニューアル後の使用規程について
第5号議案 大槻能楽堂改修工事について

報告事項 1、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席10名 欠席0名 監事出席2名
オブザーバー出席 改修工事実行委員会出席 1名
顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

平成31年2月14日 午後1時00分～

・平成30年度臨時理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 評議員選定員・評議員について
第2号議案 大槻能楽堂改修工事について

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席10名 欠席0名 監事出席2名
オブザーバー出席 改修工事実行委員会出席 1名
顧問会計事務所出席 2名 事務局出席1名

平成31年3月13日 午前10時30分～

・平成30年度第4回理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 大槻能楽堂改修工事について
第2号議案 2019年度事業計画書(案)の承認について
第3号議案 2019年度収支予算書(案)の承認について

報告事項 1、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席10名 欠席0名 監事出席1名
オブザーバー出席 改修工事実行委員会出席 1名
顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

Ⅲ 附属明細書

平成 30 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5 月

公益財団法人大槻能楽堂